2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	大分の地域ブランド創造体験 (Regional Branding for Engaging in Oita)		
ナンバリングコード	-	大分類 / 難易度 科目分野	-
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 / 後期
必修・選択区分	選択		
授業コード	A032751	クラス名	
担当教員名	吉村　充功		
履修上の注意、履修条件	原則として、COC+で実施する大分を創る人材を育成する科目である「ジェネリックスキル養成1」「ジェネリックスキル養成2」「初年次地域キャリアデザインワークショップ」のいずれかを単位修得もしくは履修登録済みであることを履修条件とします。 1泊2日×2回の宿泊型(秋及び2月末～3月中旬の春休み期間中で設定)で実施します。実習合宿地は、国東市です。送迎バスを運行します。宿泊等の費用は不要ですが、食費は実費負担です。必要なものについては、別途指示します。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書			
関連科目	ジェネリックスキル養成1・2、初年次地域キャリアデザインワークショップ(COC+単位互換科目)		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】				
【知識・理解】				
【技能・表現・コミュニケーション】	①他者と協働して活動を行い、テーマについての対応計画をまとめ、他者にわかりやすく提案することができる。		10点	20点
【思考・判断・創造】	②地域での活動を体験して情報収集・分析し、テーマに関する地域社会が直面する課題を明らかにすることができる。 ③地域企業が抱える課題を知り、地域資源を活かした商品開発を提案することができる。		40点	30点

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

①課題の指摘や提案等の資料及びプレゼン資料、②班での課題解決のための提案とその内容、③振り返りポートフォリオを評価します。なお、評価の基準(ルーブリック)は当日配布します。
中間発表、最終発表を評価します。評価は①指導する教員、②情報提供者が評価します。また、授業中のグループ討議等での発言や参加状況も評価します。なお、成績評価の基準(ルーブリック)は当日配布します。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	農山漁村や中山間地域における特産品の6次産業化※とそのブランド化は、持続可能で活力ある大分県を実現する上で不可欠です。本授業では、こうした問題を解決し「地方創生」できる人材を育成する足掛かりとして、地域ブランドを掘り起こすための力と企画力の育成を目的とします。	
授業の概要	本科目は、「大分を創る人材を育成する科目」として、大分県内の行政機関や企業から提示されたテーマに対して異校種、異なる学部学生から構成されるグループで、地域の関係者と共に、地域のデータやフィールド調査の情報などの事実を整理分析し、地域の魅力と地域が抱えている課題を指摘し、魅力を活かした課題解決方法を探るとともに、その解決のための方策を提案することをねらいとします。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ:ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

6次産業化･･･農林漁業生産と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進することを指し、1次産業の1×2次産業の2×3次産業の3のかけ算の6を意味します。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : 大分の地域ブランド創造体験（Regional Branding for Engaging　授業コード:A032751
担当教員: 吉村　充功

学修内容

1. 合宿1回目初日:授業の目標に向かってのテーマ設定と授業展開づくり
①授業のねらいや訪問の際の心構えについて説明
②授業実施のためのグループづくり
③アンケート、自己チェックシート実施
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

2. 地域体験活動1－1
①6次産業に取り組んでいる農林水産業関係者を訪問
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

3. 地域体験活動1－2
②道の駅にて、6次産品の販売状況のヒアリング
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

4. ワークショップ①（初日振り返り）
①体験して得られた気付きをまとめる、2日目の導入
②6次産品をブランド化するストーリーの必要性の説明
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

5. 合宿1回目2日目:地域体験活動2－1
①国東半島の歴史文化的特徴を知る（両子寺他）
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

6. 地域体験活動2－2
②6次産業に取り組んでいる農林水産業関係者を訪問
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

7. ワークショップ②（2日目の振り返り）
①国東の魅力をまとめる
②6次産品をブランド化するストーリーの提案資料作成
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

8. 中間発表①、2回目に向けてのガイダンス
①模造紙にまとめて発表
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : 大分の地域ブランド創造体験（Regional Branding for Engaging　授業コード:A032751
担当教員: 吉村　充功

学修内容

9. 合宿2回目初日:個人発表、統合プランの検討
①1回目合宿のワークシートをグループ内で発表
②総合プランを模造紙に整理
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

10. 中間発表②
①総合プランを発表して、地域おこし協力隊、自治体関係者からの評価を受ける
※不足情報を認識し、班毎に再訪問先を決定
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

11. 地域体験活動3
①班毎に情報収集する
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

12. 6次産品の企画書作成①
①学生視点から6次産品の提案を検討してパワーポイントに整理する
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

13. 合宿2回目2日目:6次産品の企画書作成②
※前日のつづき
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

14. 最終成果発表と講評
①パワーポイントを使って班ごとに6次産品等の提案
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

15. 振り返り
①個人コメント発表
②自己チェックシート
予習:（約2.0h）
復習:（約2.0h）

16.
予習:
復習: